代表質問（要旨）

２―３面

質問者

市原　健一（自由民主党）
半村　登（自民県政クラブ）
細田　武司（民主清新クラブ）

県南中核都市の実現は
合併の機運醸成に努力

議員（自民）　つくばエクスプレスを活用して地域の活力を生み出すため、つくばの魅力や地域資源を活用した沿線のまちづくり、誘客対策をどう進めていくのか。また、早い時期につくばと土浦の合併を行い、三〇万人以上の中核市を県南に実現すべきと考えるがどうか。

知事　郊外の潤い、都市的な快適さ、知的な環境をともに享受しながら様々なライフスタイルが実現できるまちづくりを進め、誘客対策としては研究機関の施設公開、農業体験、スカイスポーツなどつくばならではの魅力をＰＲしていく。また、県南の中核都市実現に向けて大同合併の機運が盛り上がっていくよう努力する。

議員　魅力ある茨城農業を展開していくためには、都市部の住民に茨城の農業・農村のよさを体験させることが必要である。農業・農村の活性化とイメージアップのため、都市と農村の交流をどのように進めていくのか。

知事　市民農園など手軽に農業に親しめる施設の整備、農家民宿の開設支援や交流指導者の登録など受け入れ体制の充実、グリーン・ツーリズムコースの開発や県内外への情報発信などにより都市と農村の交流を積極的に進めていく。

議員　合計特殊出生率が過去最低となるなど少子化が進行しており、県民の要望を踏まえた適切な施策を講じる必要がある。乳幼児医療費自己負担の無料化など最も要望の多かった経済的負担の軽減策も含め、総合的な少子化対策にどのように取り組んでいくのか。

知事　これまでの施策では少子化の流れが変わらないことから、本年度策定する新エンゼルプランに沿って新たな施策を展開し総合的に少子化対策に取り組んでいく。乳幼児医療費助成制度については、対象年齢の引き上げについて前向きに検討していく。

議員　医療体制の充実のためには医師の確保が最も重要だが、県内の人口一〇万人当たりの医師数は全国四六位と低迷している。県も養成確保対策を検討しているが、抜本的な対策として医学部の設置に取り組むべきと考えるがどうか。

知事　国は大学医学部の入学定員の削減を図ってきており、設置は困難な状況にある。当面は、筑波大学医学専門学群の入学定員枠の確保や医師の地域間偏在の解消方針の検討を国に働きかけていくが、提案の趣旨を踏まえ、医師の確保に全力で取り組んでいく。

議員　現在子供たちに求められる生きる力を学校で育成するための道徳教育に県を挙げて取り組む必要があるが、道徳教育はどうあるべきか。また、子供たちの精神的な強さを養い、生きる力を育成するために重要なボランティア、スポーツ・運動部、合宿など各種の体験学習をどのように推進していくのか。

教育長　これからの道徳教育は強くたくましい心を児童生徒に持たせる取り組みが重要であり、教材に忍耐力や責任感に関する内容を加え充実を図っていく。

また、指導者の資質の向上などによるスポーツ活動の充実や長期間の宿泊を重視した各種体験活動の機会の提供を、学校、家庭、地域社会が連携して推進していく。

（ほかに、三位一体改革、産学官連携による科学技術立県への取り組み、警察行政なども質問）

つくばエクスプレスのレールウォーク

一般質問（要旨）

（２―４面）

質問者

木本　信男（自由民主党）
塚田　規夫（無所属）
福地源一郎（自由民主党）
荻津　和良（自由民主党）
加倉井昭喜（自由民主党）
藤島　正孝（自由民主党）
長谷川典子（自民県政クラブ）
井手　義弘（公明党）
白田　信夫（自由民主党）

旧国立水戸病院跡地処分は
水戸市の意向を確認し検討

議員（自民）　茨城の良さが適正に評価されるよう東京に観光案内や県庁出前サービス、Ｕターンサポートなどのほか、緊急災害時の連絡先としても活用できる情報の交差点となるＰＲ館を整備すべきと考えるがどうか。

企画部長　東京における総合的な情報発信は極めて重要と考えており、本県のイメージアップ戦略のため今年度実施する東京などをターゲットにしたモニタリング調査結果等を踏まえ、全庁的な取り組み方策の検討の中で研究していく。

議員　旧国立水戸病院跡地は、単に売却するのではなく、「地域の発展を支える不可欠な財産」と明確に位置づけ、有効活用に向け地元住民の意見を聞き、水戸市と十分話し合って進めるべきと考えるがどうか。

保健福祉部長　水戸市では、今年度跡地利用に関する可能性調査を進めているところであり、水戸市の意向を確認したうえで、国とも調整を行いながら処分について検討していく。

（ほかに、市町村合併特例期限後の支援策、那珂久慈流域下水道事業の整備見通しなども質問）

移転前の水戸医療センター（旧国立水戸病院・10月１日に茨城町桜の郷に移転）

ＴＸ開業時のまちびらきは
にぎわいと活力あるまちに

議員（無所属）　つくばエクスプレス沿線の区画整理事業を成功裏に進めるためには、鉄道開業時のまちの姿が大切と考える。開業時に駅周辺を中心とするエリアは、どのような姿でまちびらきを迎えるのか。

企画部長　美しい景観を備えた誰もが利用しやすいまちを目指し、各種施設を整備するほか、商業・業務などの施設の立地を図り、にぎわいと活力を感じられるまちとして開業を迎えられるよう努力していく。

議員　米は、日本の食糧の最も基本的なもので、日本農業の根幹をなすものである。米価下落への対応、生産コスト低減についての指導をどうするのか。

農林水産部長　米価下落時に一定割合を補塡する制度への農業者の加入を促進する。また、生産コスト低減のため、ほ場の大区画化などの基盤整備を進めるとともに、担い手への土地利用集積、作業受委託などの促進、直播栽培などの技術開発や普及を進める。

（ほかに、一〇年間の県政運営の自己評価、合併後の真に自立できる自治体の実現に向けた県の取り組みなども質問）

まちづくりが進む葛城地区（中央手前が研究学園駅）